

大学・短大等との連携事業実施結果報告書

1 実施校 酒田看護専門学校

2 . 実施日 平成20年 2月25日(水) 13時00分から14時45分まで

3 . 実施内容・参加者

講 師 庄司良圓氏

内 容 専門職業人としての認識を高める

参加者 看護学科2年・3年、39名

4 . この事業の感想

- 成功の反対は失敗ではなく、何もしないという言葉が印象的。これから悩んだときや辛い時、前にもう進めないかもと感じても、あきらめずにチャレンジし続けられるようになりたい。
- “何気なく行うこと”は結構難しいことのように思うが、続けることに意味があるとまず何にでもトライして自分のスタイルを見つけたい。
- 掃除が苦手だが、「雑巾」ではなく、「蔵金」でほくほくと言う言葉を聞き、やる気が出た。
- 相手を感謝し、思いやる心を大切にしたい。
- 正しい人間でいたいと思い、自分の中の悪い心を律したいと反省。いつか永平寺で禅の修業体験をしてみたいと思った。
- どこに行っても適応していけるよう、自分という根をしっかりと持ち、折れない精神力を身につけたいと思った。
- 人と人との「ご縁」をこれからも大切にしていきたいと思った。
- 今を大切にし、その積み重ねが後に振り返った時によかったと思えるよう日々過ごしていきたい。
- 当たり前前に日常生活を送れることに感謝したい。恩を返すと言う意味でも、周囲の人への感謝の気持ちを忘れず毎日を暮らしていきたい。
- 自分自身を見つめ直すきっかけとなり、いかに自分は周りの人に支えられ、今ここにいるのだと感じた。もっと周りや関わる全てに感謝し、生きていこうと思った。
- 忙しいときこそ、立ち止まるという言葉は、看護師の仕事にもとても大切なことであり、一息おくことがアクシデント防止にもつながると感じた。